

フィラデルフィア

ライフサイエンスにおける投資機会

キーヴィット・サイエンティフィック

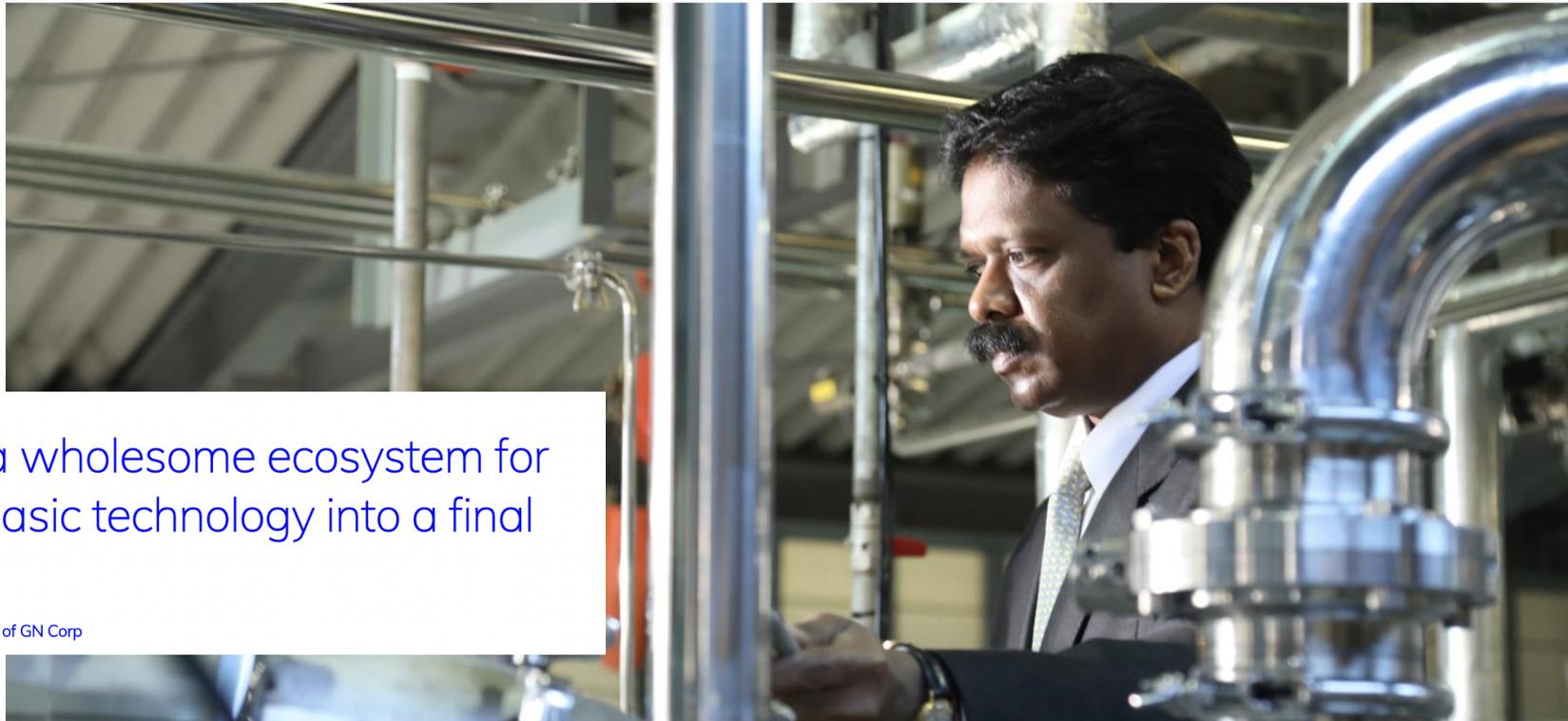
星場 勉



**Kievit
Scientific**

Sponsored Content  Brought to you by JapanGov

Japan: Where High Tech Meets High Value Foreign Direct Investment



“Japan has a wholesome ecosystem for spinning a basic technology into a final solution.”

- Dr. Samuel JK Abraham, founder of GN Corp



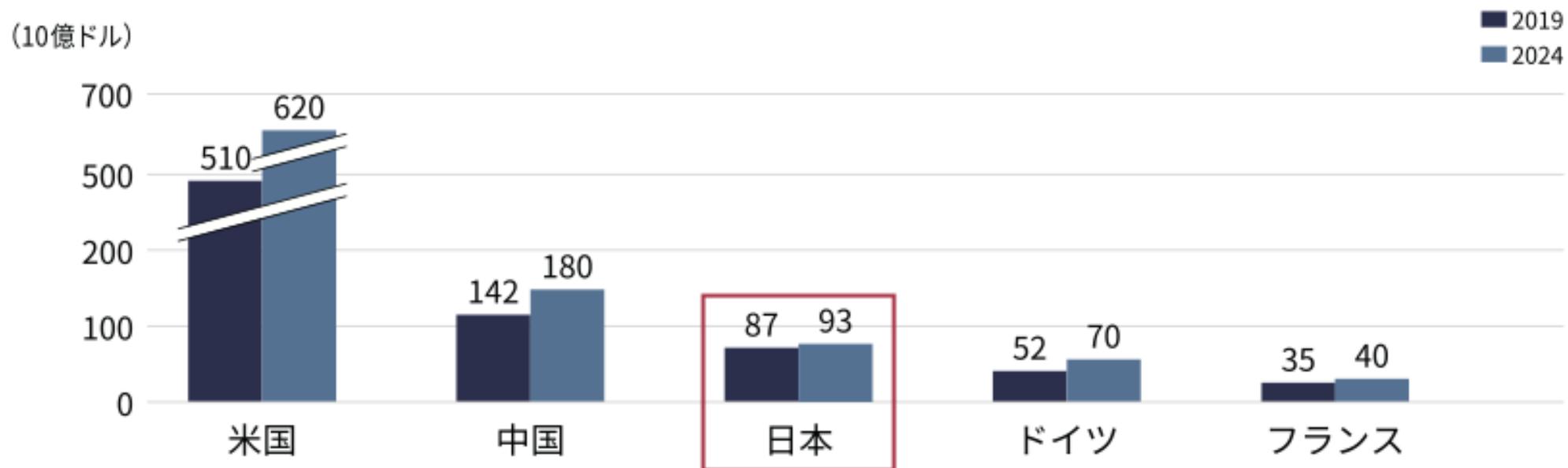
JAPAN GOV
THE GOVERNMENT OF JAPAN

私の経歴

- 札幌市出身
- 1985年 北海道医療大学薬学部卒業、薬剤師資格取得
- 1991年 米国移住、ポートランドにある試薬会社に入社
- 2002年 米国法人責任者就任
- 2006年 ベルギーに転勤、アントワープにて欧州法人責任者就任
- 2012年 代謝物解析会社入社、ボストンに米国法人設立
- 2017年 オランダに転勤、ライデンに欧州法人設立
- 2021年 米国帰国、フィラデルフィアでキーヴィット・サイエンティフィックを起業



医療用医薬品市場と予測



〔出所〕IQVIAのデータを元に作成

日本ってどうですか？

- 日本はデフレや円安により経済状況が弱化
- 新型コロナウイルスによるパンデミック対策
- 高齢化社会の進展
- 日本の基礎研究水準は世界のトップレベル
- 高い発酵・醸造技術が環境分野、材料分野、食糧分野に
- 日本企業は海外に活路を見出す必要が

スタートアップ創出元年
2022年2月10日
内閣総理大臣
岸田文雄

cic
tokyo

VENTURE
CAFÉ
TOKYO

岸田内閣総理大臣がCIC Tokyoを訪問し、スタートアップ
創出元年にあたりスタートアップとの意見交換を実施

日本政府のサポート

- 堅牢なスタートアップエコシステムを目指す
- 内閣府がバイオ戦略2020プログラムを推進
- 日本貿易振興機構(JETRO)は日本の新興企業とより確立された企業の両方が繁栄するために必要なつながりを作るのを支援
- レベルの高い基礎研究をネットワーク型イノベーションモデルの中で最大限活用し日本のライフサイエンス産業を世界のトップクラスに成長させる

バイオコミュニティの形成

- 国内外から人材・投資を呼び込み、各市場領域における製品・サービスの提供体制を強化し、世界市場に進出するための方策として、「バイオコミュニティの形成」を進める
- グローバルバイオコミュニティ
東京圏と関西圏が候補
- 地域バイオコミュニティ
北海道、鶴岡、長岡、福岡が認定

Big4Bio
B O S T O N



Greater Boston is the leading biocluster, and we keep you updated on the latest developments of the area daily:

Big4Bio
S F B A Y



The San Francisco Bay Area is the birthplace of biotech – check out what’s happening all over the region:

Big4Bio
S A N D I E G O



There’s always something going on in the San Diego life sciences industry! Subscribe free now and don’t miss out:

Big4Bio
P H I L A D E L P H I A



Keep updated on the vibrant life sciences community in Philadelphia and its surrounding tri-state areas with Big4Bio:

the four most significant life sciences markets in the country:
San Francisco, Boston, San Diego, and Philadelphia.

フィラデルフィア ライフサイエンスビジネス概略



1,852

COMPANIES



71,539

EMPLOYEES



\$133,061

AVERAGE SALARY



10.8%

5-YEAR

ENTERPRISE GROWTH



9.6%

5-YEAR

EMPLOYMENT GROWTH



\$1,171,908,356

NIH FUNDING

2021年NIH助成金

Top NIH Recipients

VALUE

\$623B

UNIVERSITY OF
PENNSYLVANIA

\$134B

CHILDREN'S HOSPITAL
OF PENNSYLVANIA

\$80B

THOMAS JEFFERSON
UNIVERSITY

NUMBER OF GRANTS

1278

UNIVERSITY OF
PENNSYLVANIA

277

CHILDREN'S HOSPITAL
OF PENNSYLVANIA

196

THOMAS JEFFERSON
UNIVERSITY

フィラデルフィアってどうでしょう？

- フィラデルフィア大都市圏の市場では、わずかに減少したNIHの資金調達を除いて、すべての業界指標が着実に増加
- 5年間の企業成長で6パーセントポイント以上の増加
- 1,852社のライフサイエンス企業数、サンディエゴより多い
- 平均給与も12%とかなりの増加だが、サンフランシスコの80%
- ベンチャー投資は驚異的な250%増加

キーヴィット・サイエンティフィック

- 名前の由来は低度絶滅種に指定された千鳥科の鳥, オランダ名でKievit、英名でLapwing、日本名はタゲリ、「田園の貴婦人」
- 冬にシベリアから飛来する渡り鳥、陽の光に照らされて輝く羽と長く伸びた冠羽が特徴で日本では冬のあいだ広い田んぼで、土の中の生きものを食べたりして過ごします
- 神奈川県湘南地方ではタゲリが飛来する豊かな田園生態系を維持しようというプロジェクトから「湘南タゲリ米」が生産されています

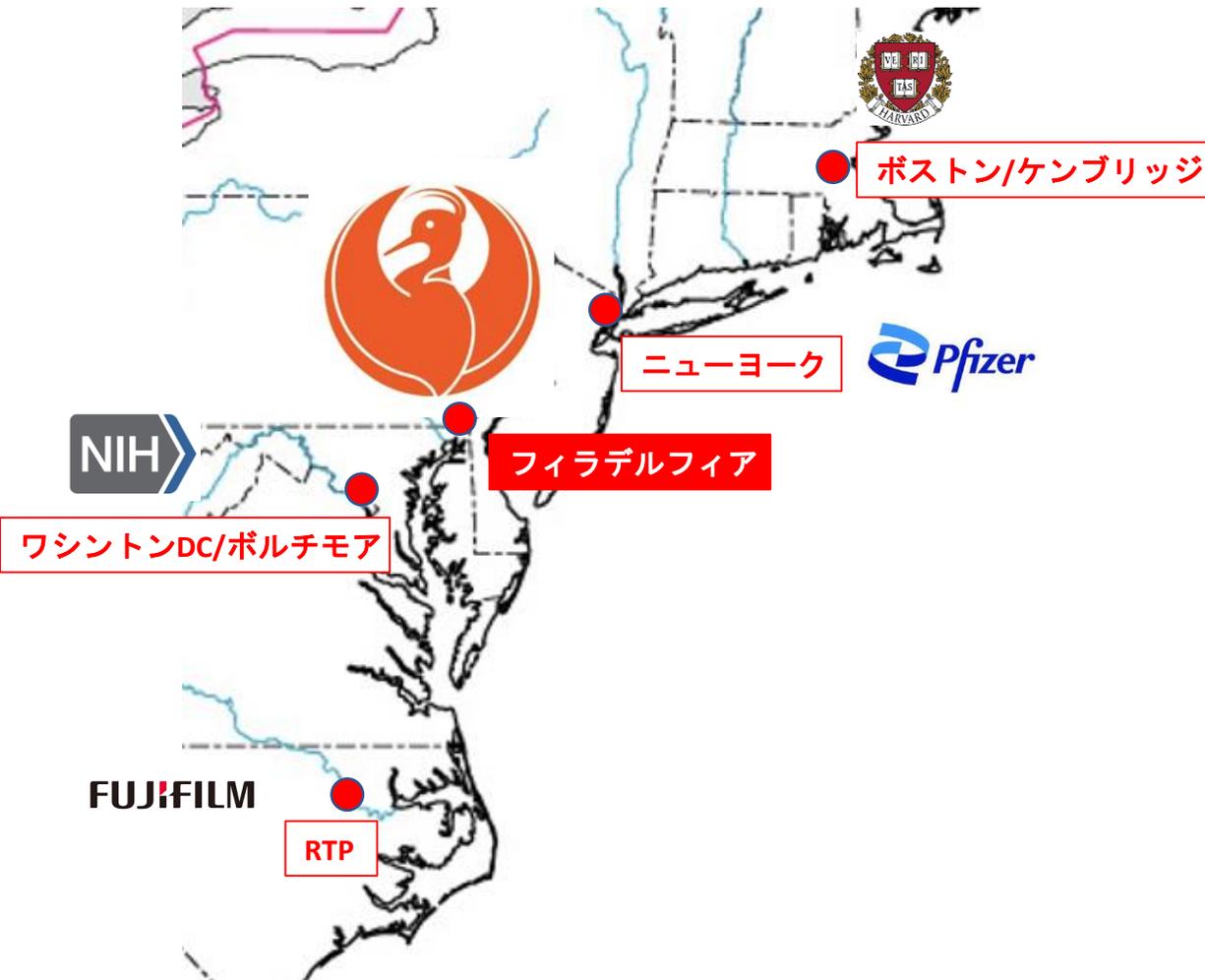


キーヴィットってなにやっているの？

- ライフサイエンスビジネスの 海外マーケティング支援
- 海外ビジネスの 戦略・準備・運営をサポート
- お客様のニーズにあった ビジネスパートナーとの架け橋に
- 米国内輸送、生物検体の 日本への発送を行います
- 日米・産官学の橋渡し、カタリストを目指します

フィラデルフィアを選んだ理由 1

- ロケーション



- 世界最大のバイオクラスターの中心
- すべての全長約600km
- トップ100大学
- 65% NIHファンディング
- 51% VCファンディング
- フィラデルフィアから車で5～6時間で移動可能

フィラデルフィアを選んだ理由 2

- コスト

Cost of Living Indexes	Boston	New York	Philadelphia
Overall Index	153.4	168.6	105
Salary	\$81,000	\$81,000	\$71,000
Median Home Cost	\$667,000	\$654,300	\$221,400
Utilities	116.8	150.5	107.7
Transportation	131.8	181.1	141.9
Health	89.7	127.6	102.1
Food & Groceries	111.4	116.6	102.5

フィラデルフィアを選んだ理由 3

- コミュニティ・サポート

- Life Science Pennsylvania

800以上の企業などからなる団体

- Science Center

米国で最初で最大の都市型イノベーション団体

- CIC Philadelphia

インキュベーション・センターの先駆け、起業家コミュニティ-Venture Cafe

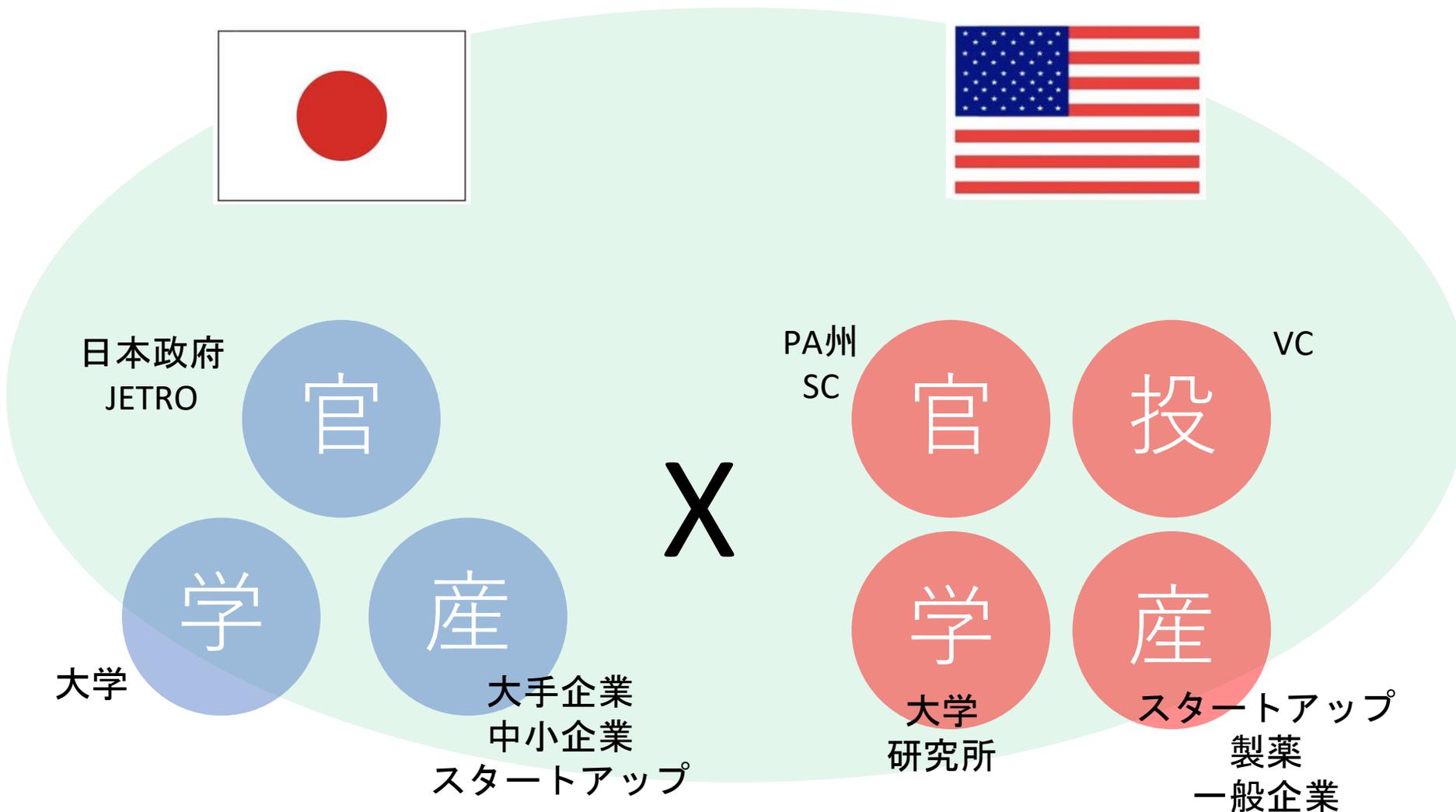
- PA州

日本とのつながり、昔から変わらぬサポート

フィラデルフィアはライフサイエンス企業にとって良いところ

- 著名大学病院が多数
- NIHが近い
- 他クラスターとの連携
- 大学発ベンチャー
- 人口が多い
- 投資家
- 大手製薬会社が存在
- 生産体制
- ロジスティック

産官学 X 産官学投



最後に

- ライフサイエンスにおいて大企業・中小企業・スタートアップのいずれのサイズの企業がアメリカに投資すべき機会は今です
- 親和性・可能性・コストを考えればフィラデルフィアで決まり！

ありがとうございました

- 星場 勉
- t.hoshiba@kievitsci.com
- Kievit Scientific LLC
- 2 Bala Cynwyd, Philadelphia, PA 19004 USA
- +1 (267) 667-6337

